

富士川

新年特集号

富士川町役場発行

富士川町岩淵121番地
電話 61 1 1 1

新年おめでとう

いよいよです

富士川町長 中川 国兵

昨四十四年を回顧しますと、まず、アメリカがアポロ11・12号を月面に着陸させて人類の偉大さを誇示したことは、世紀の快挙とし

てその功績は特筆すべきことで、これを足がかりとして、宇宙開発はいっそう時間、空間の壁を破って進むことでしょう。反面、世界

諸国が強く平和を希求しているにもかかわらず、悲惨なベトナム戦争は続き、中近東の動揺、東西両陣営の紛争、経済不安とともに、世界状況は暗い影に包まれていま

す。国内においては、経済成長、国民生活の高度化は世界驚異の的ですが、若い世代の苦悩を露呈した大学問題は、一年間を通じて、公・私立を問わず紛争を続けて、今なお正常な状態に復したとはいえず、その解決には教育制度の抜本的改革を迫られており、なおまた国防・物価・税金・公害・交通等の大きな諸問題が山積していま

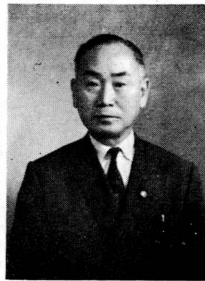
す。昨年末には、衆議院議員総選挙が行なわれ、きたるべき議会においては、佐藤ニクソン会談の成果に対して、安保条約、沖縄返還、アジアの平和維持等をめぐって、日本の政治の方向を左右する論争が行なわれるものと思えます。おそらく、昭和四十五年は日本の多難な年として、国民の覚悟が強く要求されることになりましょう。

わが富士川町は、ここ数年間、健全財政のもとに、保育園、幼稚

園、小学校の施設を整備し、全町上水道の拡充をはじめ町民福祉保健衛生行政を積極的に推進してきました。

激化する交通事情に対処して

交通対策、とくに富士川富沢線の安全対策については、砂利運搬車の激増にともなう、町民の生命・財産が危険にさらされている状態にあり、さらには松野地域の山砂利資源開発も企業の進出により結論が急がれる段階にあり、こ



れに対しても、あくまで町民生活の安定のため、歩道橋・安全灯等の施設を促進し、産業開発道路の完成を期する等、国および県に強く要望し続けていきます。

火力、初志を貫徹

わたくしは、わが町民死活の大問題として、本年も断固として初志の貫徹をはかる決意です。どうぞ皆さん、「子や孫のしあわせを守るため」わたくしといっしょに運動を続けてください。

農商工の振興について

農業・商業・工業振興の動向は

世界経済変動のなかで不安定な情勢にあり、輸入自由化の波も大きな影響を及ぼすことでしょう。この難関を切り開く道は、産業

経営の合理化、施設の近代化、作業の能率化にあり、経営者のより以上の奮起が望まれますが、町としても町内産業の振興について最善の努力をはかりたいと思っております。

青少年は社会の宝

わたくしたちに課せられている大きな使命の一つは、次代を背負って立つ青少年の育成であります。わたくしは、昨春冒頭で示したとおり、若い人材育成を志向しています。

最近、町内の各青年グループが健全に、かつ自主的、積極的に進展し始めていることについて、たいへん嬉しく思っています。ことしも、なおいっそう立派な活動を展開されるよう希望します。父兄の皆さんにもこのようにお願いしたい。

「青春期の子弟の苦悩を理解しきびしい倫理とあたたかい愛情を惜しみなく注いでいただきたい」青少年はわたくしたちの宝です。三町合併について

社会の状況は広域行政を強く要請しており、事実、由比、蒲原両町との共同事業も年を追って増加しています。このため、現在、三

町で広域行政についての調査研究を進めています。合併問題については、今後、三町総合開発計画の構想にもつき、町民皆さんの世論を十分汲みとって、町将来の発展と町民福利増進をはかりたいと考えています。

町民皆さんの良識ある判断と協力に期待する次第です。

町民の生命財産を守るために

町民の生命、財産を守るため庵原三町で庵原地区消防組合を設置することを決め、昨年末の十二月定例議会の承認を得ました。

これにより、ことしいばいは消防署、消防車等消防施設を充実し、四十六年から職員を配置した富士川消防署を足立させます。従来の消防団とで消防力は強化され、なお、交通災害等の救急業務が充実します。

岩淵駅舎落成

皆さんのご協力をいただいた岩淵駅舎の改築も本年春に完成しました。

ご協力を

東海道メカトロポリスとして、今後、富士川町の歩むべき道は多難ですが、大きな発展が予想され、前途に光明を見る感じがします。

この期に際し、町議会をはじめ皆さんのいっそうのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり

富士川町議会議長

若月 清

富士川町議会議長を代表し、一言であいさつ申し上げます。

まず、新春冒頭に際し、第一にわたくしたち町議会議員十八名が皆さんの付託にこたえるため、町政の諸問題審議に参画し、努力しているということ、第二に、町当局が、中川町長の指揮のもと、町発展と住民福祉向上のために、正しい町政を行なっているということとを広く皆さんにご報告でき、たいへん嬉しく思います。

これは、私事にわたってはなはだ恐縮ですが、わたくしは昨年、病気のため、皆さんにたいへんお世話になりましたが、ただ今は健康も回復に向かい、議長職を立派に果たさせていただきたいと念願しています。

さて、ことは三町合併を再検討する時期として、また、郡議長の当番町として議会活動がいっそう激化することが予想されます

三町合併について

三町合併問題については、町民皆さんの世論にもとづいて決せら

れることは言うまでもありませんが、時勢の波を受けて、町単位では住民の福利をはかりきれぬ面も出てきており、全国的に見ても広域行政の必要性が叫ばれている現状にあります。

わたくしたちは、十二月定例町議会後の協議会で町当局と話し合い、新春早々に区長さん、各種団体代表者の皆さんと懇談会の機会をもつとともに、町当局、議会学識経験者として「富士川町合併推進協議会」を設置し、慎重に三町合併を検討していこうとしています



なお、ただ今、国土開発協会の手によって庵原三町の総合開発計画が作成されつつあり、この資料により大局的な構想が練られることになると思います。

繰り返して申しあげますが、このもっとも重要な問題は、町当局町議会だけで決せられるべきものでなく、広く町民皆さんの良識ある判断によるのが正しい道理であります。ともにしつかり考えていきましょう。

火力反対運動について

ことしも引続き公害発生源である火力発電所設置反対運動を展開していくこととなりますが、一市四町と密接な連絡を保って強力に推進していかなければなりません

わたくしは、昨年末、町議会議長を代表し、鈴木富治副議長を帯同して、蒲原町と芝川町を訪問、両町正副議長に口頭で正式に火力発電所設置反対の議会決議を要請しました。

この二町だけが議会決議をしていないからでした。両町の内政干渉にならぬよう十分配慮しお願いとして述べたのですが、両町議会とも、他意があつて遅れていたのではないと快諾していただき、蒲原町は十二月定例議会ですこれを可決しています。

町民の皆さん、ことしも他の一市三町の皆さんと手をたずさえてこの運動を成しとげようではありませんか。

皆さんのご協力を

ことしは町内外とも多事多端になるでしょう。

七〇年安保の争点がどのような状態をはらむか、年末の選挙により圧倒的な支持を得た自民党政権

が物価・交通・税金・公害・教育等の大きな課題にどのように対処していくか、きびしい国情を描くことも予想されます。

内にあつては、山砂利対策を含む交通問題について、早期に県道富士川富沢線のバイパス、産業開発道路建設を実現するために強力な運動を展開する必要があります、その他山積する課題を果たしていかねばなりません。

町議会としては、事業を執行していく町当局の姿勢を見守りながら積極的に協力して、円滑な町政を推進していきたいと考えておりことしもなおいっそう富士川町発展のため努力していく決意です。そのためにも、町民皆さんのご理解とご協力を賜わりたく、よろしくお願い申し上げます。

編集覚書

年頭はいいものだ。未来だけがある。しかも、輝やきを放つているように感じられるから。

うららかな光りだ。ことしの「富士川」をどのように編集しようか新鮮な企画を、と考えるのも正月の屠蘇ゆえだろう。

町行政と町民皆さんを結ぶ立派なパイプラインでありたい。

81 一一一

広報富士川 斎藤 博

謹賀新年

役場	高岡文夫
助役	芦沢美之作
収入役	原田良之輔
教育長	大久保芳夫
企画課長	芦川藤雄
総務	渡辺 勝
税務	久保田安男
衛生	望月計夫
住民	加藤 勲
建設	望月義信
水道	平田広胤
教育	
議会	
副議長	鈴木富治
総務委員長	望月亀蔵
副委員長	太田義雄
委員	渡辺 清
	望月好夫
	佐野義策
	市川政男
建設委員長	芦川守正
副委員長	古川喜代松
委員	箕 武司
	桐山良雄
	太田竹蔵
	高岡太郎
厚生委員長	斎藤六郎
副委員長	斎藤昌巳
委員	渡辺忠作
	坪内佐吉